

# 愛知県がんセンター 中央病院・研究所 概要

平成30年度



# 基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

## 基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 根拠に基づいた良質で安全な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した研究を推進します。
5. 教育と研修を充実し、がん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県のみならず日本さらには国際社会へ貢献します。

## 患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門施設として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

### 患者さんの権利

1. 誰でも良質な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

### 病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんに迷惑となるような行為や診療の妨げとなるような行為は行わないでください。
4. 診療費は滞ることなくお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

# 目 次

目 的 .....	2
沿 革 .....	2
設置の根拠 .....	3
施設の概要 .....	3
所在地 土地・建物 中央病院 研究所	
組織と職員定数 .....	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務 .....	10
会計予算 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備 .....	18
備品 附属設備	
病院業務 .....	19
診療科目 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務 .....	27
研究所における分野別研究課題 病院における課題別研究課題 共同研究課題等	
類似病院との比較 .....	30
外来診療案内・入院案内 .....	31
交通案内 .....	32

# 目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

# 沿 革

昭和36年 1 月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6 月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年10月15日	建物竣工
昭和39年12月 1 日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3 月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和49年 8 月31日	検査診断棟増築工事竣工
昭和57年 3 月30日	遺伝子組換え実験室完成
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8 月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3 年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4 年 2 月29日	病棟竣工
平成 4 年 5 月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6 年 3 月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6 年 5 月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7 年 6 月30日	立体駐車場竣工
平成 7 年12月25日	植栽工事（環境整備）完成
平成 9 年 3 月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3 月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1 月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2 月 7 日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4 月 1 日	臨床研修病院の指定
平成14年 8 月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4 月 1 日	地方公営企業法の全部適用
平成16年 9 月27日	病院機能評価の認定（Ver4.0）
平成17年 4 月 1 日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9 月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1 月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成21年 9 月27日	病院機能評価の認定（Ver6.0）
平成22年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成22年10月 1 日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7 月 1 日	外来化学療法センター開設
平成26年 3 月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4 月 1 日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成26年 9 月27日	病院機能評価の認定（機能種別版評価項目3rdG:ver1.0）
平成27年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
平成28年10月 1 日	サルコーマセンター開設
平成29年 4 月 1 日	個別化医療センター開設
平成30年 4 月 1 日	リスク評価センター開設

# 設置の根拠

設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置  
 現在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

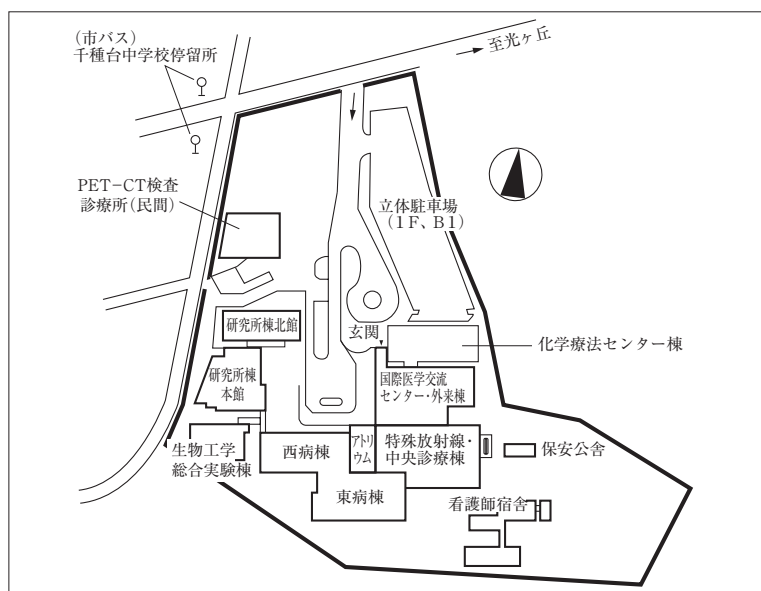
業務の内容

- ア 悪性新生物に関する診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての調査研究を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者・研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査研究を行う者に施設を利用させること

# 施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

(平成30年4月1日現在)



# 土地・建物

(平成30年4月1日現在)

区	分	構造・規模	延床面積
土	地		49,788.56 m <sup>2</sup>
建 物	合 計		72,941.06 m <sup>2</sup>
	病 棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m <sup>2</sup>
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m <sup>2</sup>
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m <sup>2</sup>
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m <sup>2</sup>
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m <sup>2</sup>
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m <sup>2</sup>
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m <sup>2</sup>
	看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 地上4階 搭屋1階 2棟	3,352.33 m <sup>2</sup>
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m <sup>2</sup>
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m <sup>2</sup>
	その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	355.46 m <sup>2</sup>

(東) 病 棟 (西)

		内 容	病床数	階別	内 容	病床数	
		機械室		搭屋	機械室		
		特別病棟 (混合)	25床	9階	特別病棟 (混合)	25床	
		特別病棟 (混合)	30床	8階	一般病棟 (薬物療法科、放射線治療科、頭頸 部外科、治験、緩和ケア(緊急))	50床	
		一般病棟 (消化器内科・消化器外科)	50床	7階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科)	50床	
		一般病棟 (呼吸器内科、整形外科)	50床	6階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、 放射線診断・IVR科)	49床	
	空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床)	一般病棟 (頭頸部外科、脳神経外科) (46床)	50床	5階	一般病棟 (婦人科、乳腺科、形成外科)	50床
手術部門、輸血部門		ICU病棟	21床	4階	一般病棟 (呼吸器外科、呼吸器内科、薬物 療法科)	50床	
臨床検査部門		アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)、リスク評価センター		3階	管理部門(総長室、病院長室等)		
放射線診断・IVR部門		内視鏡部門 生理検査部門		2階	管理部門(医局等)		
中央滅菌材料室、供給部門		憩いのフロアー、アトリウム (食堂、売店等)		1階	入院受付 管理部門(運用部等)		
放射線治療部門、電気室		栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室		

(病床合計500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門(一部)、外来手術室・処置室等
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター/緩和ケア センター、薬剤部門(薬局受付等)、会計等
1 階	国際医学交流センター(メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門(供給室等)、カルテ、フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門(ミキシング室等)

## 都道府県がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院は、全国どこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるよう、地域ごとに厚生労働大臣が指定した病院であり、がん医療の内容、医療従事者、診療実績、設備、情報提供・相談体制など一定の要件を満たしている。

当院は、平成19年1月31日付けで県内1か所の「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受け、県内の「地域がん診療連携拠点病院」及び愛知県が指定する「愛知県がん診療拠点病院」を束ね、愛知県の中心的ながん診療機能を担っている。具体的には、拠点病院の医療従事者に対する研修の実施、地域連携クリニカルパスの整備、診療実績等の情報共有、PDCAサイクルの確保など、地域の医療連携体制の構築を支援している。

## 外来化学療法センター

平成25年7月1日に開設した化学療法センター棟は、中庭の配置による自然光が入る明るいフロアー、木の温もりあふれる空間において、ベッド38床（うち個室3床）、チェア22台の計60床を有し、全国でも最大規模の病床数を誇っている。外来での化学療法の提供のみならず、多くの治験、臨床試験も外来治療として施行し、看護師や薬剤師による副作用対応のための電話相談等にも対応し、きめ細やかな医療を提供することにより、平成29年度利用患者総数は25,610件で、1日あたりの利用者数は105人であった。名実ともに日本のがん治療を担うleading hospitalの新たな顔として機能している。



## 先進医療

先進医療とは、その有効性及び安全性を確保する観点から、医療技術ごとに一定の施設基準を設定し、施設基準に該当する保険医療機関は届出により保険診療との併用ができることとした制度である。

愛知県がんセンター中央病院では、平成30年4月1日現在、「mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 胃癌（腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。）」を始め7種類の医療技術について提供している。

## 臨床試験部(治験支援室・臨床試験室・試験支援室)

臨床試験部は臨床研究を支援する部門であり、治験支援室は薬剤や医療機器の承認申請を目的とした治験を支援し、臨床試験室および試験支援室は、治験以外の臨床研究を支援している。当院では、数多くの抗がん剤の治験を受託しており(約140件/年)、最近では多くの国際共同治験にも参加している。また、平成30年4月の臨床研究法の施行に伴い、当院は、臨床研究審査委員会の認定を取得している。臨床研究の法整備に対応して、臨床試験部は、当院におけるより円滑な臨床研究の実施を目指し、支援体制を整備している。

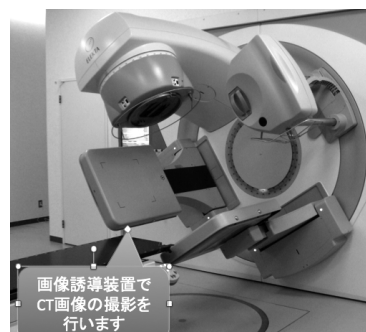
## 手術室

手術件数の増加、近年の低侵襲手術の導入に伴う1件当たりの時間延長に対応すべく、手術室増室工事をを行い、平成30年4月から稼働した。今後の鏡視下手術、ロボット支援下手術の増加、関連機器の高度化を念頭に置き、広めのスペースを取るとともに、これまで通り、清潔機材の供給路と使用後機材の回収ルートに分ける構造となっている。今回の手術室増室により、更なる件数の増加、待機時間の短縮が期待される。



## シナジー (Synergy)

平成24年7月に稼働したIMRTや体幹部定位放射線治療などの高精度放射線治療と、一般放射線治療を行う汎用治療装置。治療直前にCT画像を撮影して正確に位置合わせを行い治療することができ、呼吸位相の照画像で定位照射の正確な位置合わせも可能である。IMRTの需要が年々増加する中で、年間のIMRTの治療人数をおよそ30-40人増加でき、体幹部定位放射線治療は年間10数名実施している。



## トゥルービーム (True beam)

高精度治療兼用の汎用機。シナジーと同様に治療前のCT照合を行い高精度な位置合わせを行う。高線量率の照射が可能となる特徴があり、体幹部定位照射の治療時間が短くなり、トモセラピーに近い複雑なIMRTの実施も可能になる。またガンマナイフ同様の脳定位照射が実施できる利点がある。本機の導入により高精度治療の対応範囲が増加し、より治療精度が向上している。



## がん診療情報ネットワークシステム

国立がんセンター中央病院を核として、国立9病院と、愛知県がんセンターを始め全国の自治体設立15施設の計24施設をネットワークで結び、各施設間での臨床情報、研究情報及び学術情報の共有化を図るとともに、相互の情報交換によりがん診療や治療技術、研究の向上を図る目的で運営されている。

なお、地方自治体設立のがんセンターとしては、愛知県がんセンターが全国にさきがけてネットワークの一員となっている。

# 研究所

(平成30年4月1日現在)

## 研究所棟本館

	7フロア	南	北	7フロア	
	6階	電気室	空調機械スペース	6階	
生物学総合実験棟	5階	腫瘍免疫応答研究分野	腫瘍免疫制御TR分野	5階	研究所棟北館
空調機械スペース	4階	分子診断TR分野 個別化医療TR分野	腫瘍制御学分野	4階	空調機械スペース
改修中	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	副総長室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 セミナー室等
管理室 バイオバンク部門 医局	2階	がん予防研究分野 分子遺伝学分野	分子腫瘍学分野	2階	図書室 共同機器室 会議室
バイオバンク部門 共同機器室 学生研修室・更衣室 会議室	1階	共通機器室/管理室	臨床研究室 共同機器室	1階	運用部電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階(一部6階)、総床面積7,113㎡である。動物実験施設が設置され、免疫能の低い特殊なマウスや遺伝子改変マウスを用いた発がん・制がんの実験や、遺伝子機能解明のための実験が行われている。1階には管理室や共同機器室と共に、臨床研究室が置かれ、病院との共同研究が進められている。2階から5階には実験室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、共同機器室、

がん登録室、図書室、セミナー室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も開設されている。

生物学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。一昨年度、最新の使用目的に合うよう改修され、1階にはバイオバンクや、共同機器室とともに、看護学生研修室、会議室も整備された。2階には、従来からある管理室のほかにバイオバンク、医局が整備された。3階は、改修のため、今年度に設計が行われる。





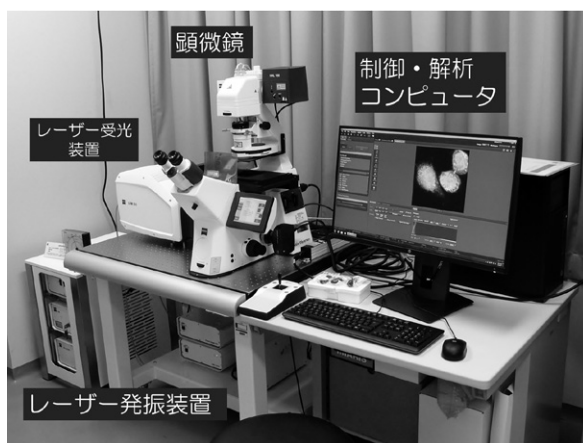
## 高機能フローサイトメータ

蛍光物質により目印を付けた細胞にレーザーを照射して、蛍光を測定し、細胞集団の情報を解析する装置である。複数の蛍光物質を用いて解析することにより、詳細な情報を解析できる。以前の装置は、4種類の蛍光しか解析できなかったのと比較して、昨年度整備された機器は、16種類の蛍光を解析できるため、解析能力が飛躍的に向上した。



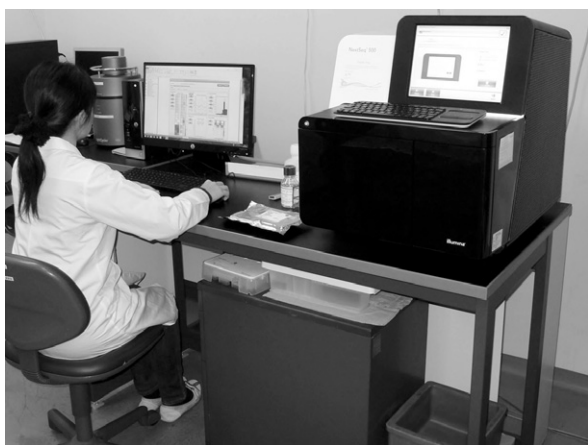
## 共焦点レーザー顕微鏡

共焦点レーザー顕微鏡は、特定の焦点面(水平面)において、特定の蛍光だけを取得できる顕微鏡である。特定の焦点面だけの画像を取得できるため、鮮明な画像が取得できる。また、特定の蛍光だけを取得できるため、複数の蛍光を別々の画像として取得し、複数の蛋白質の存在位置の関係を調べることができる。



## 次世代DNAシーケンサー

次世代DNAシーケンサーは、従来のDNAシーケンサーの1億から10億倍のデータを取得することが可能な機器である。1台の次世代シーケンサーを用いると、何百台という従来型シーケンサーで10年ほど要したデータをわずか数日で取得できる。今日のがんの基礎および臨床研究では、大規模な塩基配列情報を一斉解析することは、必要不可欠である。



## レーザーマイクロダイセクション

レーザーマイクロダイセクションは、スライドガラス上の組織切片を顕微鏡下で観察しながら、混在する複数の細胞集団のなかから目的とする細胞塊をレーザーによって切り出し、採取、回収することのできる装置である。回収したサンプルは、分子生物学的な手法等を用いた解析に用いる。



# 組織と職員定数

組 織 (平成30年4月1日現在)



# 役職者一覧表

(平成30年4月1日現在)

役職名		氏名	備考	役職名		氏名	備考	
総長	長	木下平	事務取扱	中央病院	外来部長	堀尾芳嗣		
	副長	高橋隆			手術部長	伊藤誠二		
運用部	運用部長	後藤輝夫		中央病院	循環器科部長	山本充		
	経営戦略室長	川津弘之			緩和ケア部長	下山理史		
	管理課長	加藤洋一			精神腫瘍科部長	小森康永		
	院長	丹羽康正			看護部長	亀島里美	副院長(兼)	
副院長	副院長	岩田広治		中央病院	薬剤部長	梶田正樹		
		清水泰博			栄養管理部長	田近正洋	内視鏡部長(兼)	
		樋田豊明			医療安全管理部長	岩田広治	副院長(兼)	
		室圭			臨床試験部長	安藤正志		
中央病院	副院長	亀島里美		中央病院	医療情報管理部長	樋田豊明	副院長(兼)	
		消化器内科部長	原和生			外来化学療法センター長	室圭	副院長(兼)
		内視鏡部長	田近正洋			サルコマーマセンター長	筑紫聡	整形外科部長(兼)
		呼吸器内科部長	樋田豊明		副院長(兼)	リスク評価センター長	井本逸勢	
中央病院	副院長	血液・細胞療法部長	山本一仁		研究所	個別化医療センター長	谷田部恭	遺伝子病理診断部長(兼)
		薬物療法部長	室圭	副院長(兼)		地域医療連携・相談支援センター長	樋田豊明	副院長(兼)
		臨床検査部長	谷田部恭	遺伝子病理診断部長(兼)		緩和ケアセンター長	下山理史	緩和ケア部長(兼)
		遺伝子病理診断部長	谷田部恭			研究所長	欠	
中央病院	副院長	輸血部長	山本一仁	血液・細胞療法部長(兼)	研究所	副所長	関戸好孝	
		頭頸部外科部長	花井信広			がん情報・対策研究分野長	伊藤秀美	
		形成外科部長	兵藤伊久夫			がん予防研究分野長	松尾恵太郎	
		呼吸器外科部長	坂尾幸則			分子遺伝学分野長	井本逸勢	中央病院リスク評価センター長(兼)
中央病院	副院長	乳腺科部長	岩田広治	副院長(兼)	研究所	がん病態生理学分野長	青木正博	
		消化器外科部長	清水泰博	副院長(兼)		分子腫瘍学分野長	関戸好孝	副所長(兼)
		整形外科部長	筑紫聡			システム解析学分野長	欠	
		リハビリテーション部長	吉田雅博			腫瘍制御学分野長	小根山千歳	
中央病院	副院長	泌尿器科部長	曾我倫久人		研究所	腫瘍免疫応答研究分野長	葛島清隆	
		婦人科部長	水野美香			腫瘍免疫制御トランスレシヨナルリサーチ分野長	欠	
		脳神経外科部長	服部和良			分子診断トランスレシヨナルリサーチ分野長	欠	
		麻酔科部長	仲田純也			がん標的治療トランスレシヨナルリサーチ分野長	衣斐寛倫	
中央病院	副院長	集中治療部長	小森康司		研究所	個別化医療トランスレシヨナルリサーチ分野長	谷田部恭	中央病院遺伝子病理診断部長(兼)
		放射線診断・IVR部長	稲葉吉隆			共通機器室長	青木正博	がん病態生理学分野長(兼)
		放射線治療部長	古平毅			バイオバンク部門長	松尾恵太郎	がん予防研究分野長(兼)

# 職種別・職員定員一覧表

(平成30年4月1日現在)

職種別	部門別	総数	運用部	中央病院	研究所
総務	数	755	29	668	58
医療社会事業員	務	34	28	6	
医師		142	1	110	31
歯科医師		2		1	1
理学士・研究員		13		1	12
診療放射線技師		28		28	
理学療法士		5		5	
言語聴覚士		1		1	
作業療法士		1		1	
薬剤師		34		34	
臨床検査技師		32		31	1
臨床工学技士		4		4	
看護師		409		409	
看護助手		2		2	
栄養士		3		3	
歯科衛生士		1		1	
その他給食関係職員		15		15	
臨床試験コーディネーター		14		14	
遺伝カウンセラー		1		1	
研究補助		13			13

# 管理業務

## 会計予算

(収益的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		29年度当初予算	30年度当初予算
( 事業収益 )		21,518,645	23,085,119
医 業 収 益		18,510,360	20,006,032
	入 院 収 益	※ 8,734,290	9,518,145
	外 来 収 益	※ 7,656,176	8,520,140
	一般会計負担金	1,000,155	846,760
	その他医業収益	1,119,739	1,120,987
医 業 外 収 益		3,008,285	3,079,087
	受取利息配当金	22	1
	一般会計負担金	1,590,916	1,592,318
	一般会計補助金	13,818	5,651
	国庫補助金	21,725	13,685
	長期前受金戻入	72,412	107,378
	資本費繰入収益	678,372	730,941
	その他医業外収益	631,020	629,113
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
( 事業費用 )		20,889,408	22,319,890
医 業 費 用		20,710,180	22,121,839
	給 与 費	8,610,520	8,830,336
	材 料 費	※ 7,812,070	8,905,042
	経 費	2,194,773	2,319,379
	減価償却費	1,433,420	1,397,140
	資産減耗費	38,827	53,174
	研究研修費	620,570	616,768
医 業 外 費 用		174,228	193,051
	支払利息・企債諸費	87,733	72,103
	長期前払消費税償却	26,953	50,855
	雑 損 失	2,001	2,001
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	57,541	68,092
特 別 損 失		0	0
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		629,237	765,229

※平成29年度は、別に2月補正予算として、材料費 430,700 千円を計上 (薬品費に係る増額補正)  
 入院収益 18,976 千円を計上 (材料費(薬品費)の増に伴う増額補正)  
 外来収益 421,853 千円を計上 (材料費(薬品費)の増に伴う増額補正)

## (資本的収入支出)

(単位 千円)

(款) 項	目	金 額	
		29年度当初予算	30年度当初予算
(資本的収入)		1,918,937	1,491,471
企 業 債	企 業 債	1,166,200	722,600
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計出資金	一般会計出資金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	732,737	743,871
雑 収 入	雑 収 入	20,000	25,000
(資本的支出)		2,612,959	2,285,792
建設改良費		475,571	97,479
	建 設 費	0	0
	改 良 費	475,571	97,479
資産購入費		1,151,957	1,074,584
	医療器械購入費	766,987	688,228
	備品購入費	100	100
	リース債務費	384,870	386,256
企業債償還金	企業債償還金	985,431	1,113,729
収 支		△ 694,022	△ 794,321

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

## 経営状況

(単位 千円・税抜き)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
事業収益	16,318,503	17,165,299	18,299,986	20,189,060	21,137,666	
内 訳	入院収益	7,946,933	7,782,370	8,144,735	8,470,312	8,609,581
	外来収益	4,947,789	5,271,329	5,944,954	7,053,008	7,903,662
	一般会計負担金	2,453,926	2,303,929	2,385,351	2,684,520	2,591,071
	そ の 他	969,855	1,807,671	1,824,946	1,981,220	2,033,352
特別利益	0	0	0	0	0	
事業費用	15,978,366	17,035,164	17,706,041	19,202,058	20,309,915	
内 訳	給 与 費	7,071,530	7,232,431	7,488,279	7,669,260	7,973,624
	そ の 他	8,906,836	9,802,733	10,217,762	11,532,798	12,336,291
特別損失	0	3,345,799	0	0	0	
経 常 損 益	340,137	130,136	593,945	987,002	827,751	
純 損 益	340,137	△ 3,215,663	593,945	987,002	827,751	

(注1) 経常損益は、事業収益から事業費用を差し引いたものをいう。

(注2) 純損益は、経常損益に特別損益を加えたものをいう。

(注3) 平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

# がん患者状況（院内登録）

## 年次別・部位別がん患者数（男女計） 1964－2016

※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19~C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮 がん (C53~C55 C58)	泌尿器 のがん (C60~C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82, C84, C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他 のがん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,593	62	289	116	90	47	104	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,552	56	211	103	72	56	130	208	308	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,683	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	27	42	12	153
平成10年(1998)	1,804	63	284	129	72	73	139	257	310	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,888	72	260	103	86	65	144	288	382	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,900	71	260	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,066	121	261	140	103	59	170	309	350	162	82	44	61	11	193
平成14年(2002)	2,215	120	274	152	114	63	213	335	346	148	111	47	66	10	216
平成15年(2003)	2,288	124	275	161	117	61	207	326	325	159	147	50	78	8	250
平成16年(2004)	2,390	137	307	161	115	65	223	316	333	184	146	55	56	7	285
平成17年(2005)	2,626	162	331	171	169	81	236	347	376	196	135	45	65	10	302
平成18年(2006)	2,755	165	367	189	172	67	190	365	429	203	173	67	64	13	291
平成19年(2007)	2,786	176	356	174	181	75	216	359	415	173	182	66	44	18	351
平成20年(2008)	2,645	150	359	167	159	53	175	306	426	199	183	54	34	13	367
平成21年(2009)	2,951	165	318	165	161	85	263	402	433	263	228	53	36	22	357
平成22年(2010)	3,029	180	350	191	167	98	226	416	456	245	224	53	33	12	378
平成23年(2011)	3,022	180	327	172	156	77	261	411	494	208	225	59	38	15	399
平成24年(2012)	3,037	212	354	173	180	63	268	360	510	229	189	49	28	10	412
平成25年(2013)	3,027	186	329	180	158	65	294	385	533	218	185	59	29	15	391
平成26年(2014)	2,928	201	274	173	158	70	266	453	503	201	172	54	10	5	388
平成27年(2015)	2,925	160	321	176	180	64	268	452	458	164	190	48	2	5	437
平成28年(2016)	3,312	202	374	206	141	60	316	512	554	178	221	48	0	9	491
合計	97,822	4,301	17,333	5,201	4,969	2,356	7,541	11,667	16,723	10,054	3,687	1,705	1,922	589	9,774

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964-2016 ※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00~D09)	食道がん (C15)	胃がん (C16)	結腸がん (C18)	直腸がん (C19~C21)	肝臓がん (C22)	頭頸部のがん (C00~C14 C30~C32)	肺がん (C33, C34)	乳房がん (C50)	子宮がん (C53~C55 C58)	泌尿器のがん (C60~C68)	甲状腺がん (C73)	悪性リンパ腫 (C82, C84 C85, C96)	白血病 (C91~C95)	その他のがん
昭和39年(1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年(1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年(1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年(1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年(1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年(1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年(1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年(1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年(1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年(1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年(1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年(1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年(1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年(1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年(1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年(1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年(1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年(1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年(1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年(1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年(1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年(1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年(1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年(1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年(1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年(1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年(1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年(1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年(1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年(1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年(1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	3.0	6.5	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年(1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年(1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.5	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.2
平成9年(1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.9	8.0	4.3	1.6	2.5	0.7	9.1
平成10年(1998)	100.0	3.5	15.7	7.2	4.0	4.0	7.7	14.2	17.1	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年(1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.3	20.2	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年(2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年(2001)	100.0	5.9	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	16.9	7.8	4.0	2.1	3.0	0.5	9.3
平成14年(2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.6	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.8
平成15年(2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.3	14.2	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年(2004)	100.0	5.8	12.9	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.1	2.3	2.3	0.3	12.0
平成17年(2005)	100.0	6.2	12.6	6.5	6.4	3.1	9.0	13.2	14.3	7.5	5.1	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年(2006)	100.0	6.0	13.3	6.9	6.2	2.4	6.9	13.2	15.6	7.4	6.3	2.4	2.3	0.5	10.6
平成19年(2007)	100.0	6.3	12.8	6.2	6.5	2.7	7.8	12.9	14.9	6.2	6.5	2.4	1.6	0.6	12.6
平成20年(2008)	100.0	5.7	13.6	6.3	6.0	2.0	6.6	11.6	16.1	7.5	6.9	2.0	1.3	0.5	13.9
平成21年(2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.5	2.9	8.9	13.6	14.7	8.9	7.7	1.8	1.2	0.7	12.1
平成22年(2010)	100.0	5.9	11.6	6.3	5.5	3.2	7.5	13.7	15.1	8.1	7.4	1.7	1.1	0.4	12.5
平成23年(2011)	100.0	6.0	10.8	5.7	5.2	2.5	8.6	13.6	16.3	6.9	7.4	2.0	1.3	0.5	13.2
平成24年(2012)	100.0	7.0	11.7	5.7	5.9	2.1	8.8	11.9	16.8	7.5	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年(2013)	100.0	6.2	10.9	5.9	5.2	2.2	9.7	12.7	17.6	7.2	6.1	1.9	1.0	0.5	12.9
平成26年(2014)	100.0	6.9	9.3	5.9	5.4	2.4	9.1	15.5	17.2	6.9	5.9	1.8	0.3	0.2	13.2
平成27年(2015)	100.0	5.5	10.9	6.0	6.2	2.2	9.1	15.5	15.7	5.6	6.5	1.6	0.1	0.2	14.9
平成28年(2016)	100.0	6.1	11.3	6.2	4.3	1.8	9.5	15.5	16.7	5.4	6.7	1.4	0.0	0.3	14.8
合計	100.0	4.4	17.7	5.3	5.1	2.4	7.7	11.9	17.1	10.3	3.8	1.7	2.0	0.6	10.0

登録(診断)年次別がん患者の生存数(男女計) 1964 - 2015

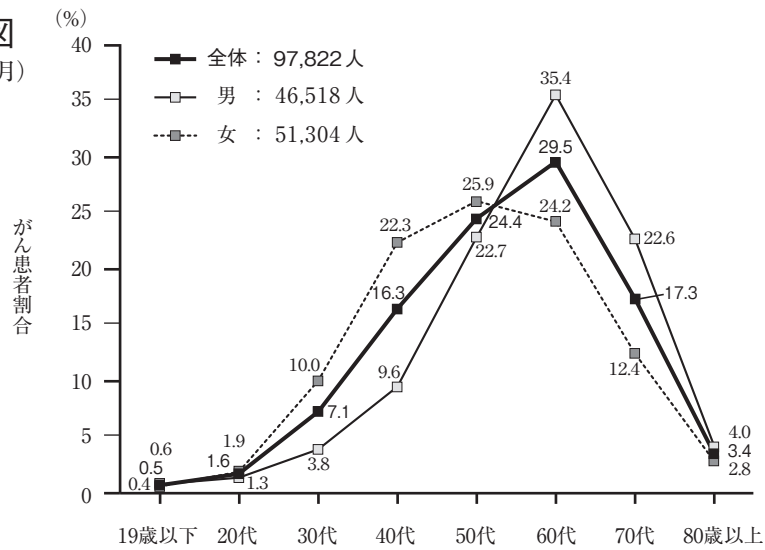
登録(診断)年	症例数	経過年数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年(1965)	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年(1966)	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年(1967)	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年(1968)	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年(1969)	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年(1970)	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年(1971)	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年(1972)	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年(1973)	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年(1974)	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年(1975)	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年(1976)	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年(1977)	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年(1978)	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年(1979)	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年(1980)	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年(1981)	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年(1982)	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年(1983)	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年(1984)	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年(1985)	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年(1986)	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年(1987)	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年(1988)	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年(1989)	1,287	1,008	883	819	784	757	641
平成2年(1990)	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年(1991)	1,298	1,080	943	873	826	786	684
平成4年(1992)	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年(1993)	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年(1994)	1,593	1,305	1,160	1,073	1,005	966	828
平成7年(1995)	1,545	1,259	1,095	992	931	900	759
平成8年(1996)	1,552	1,282	1,122	1,009	966	912	777
平成9年(1997)	1,683	1,406	1,211	1,100	1,036	993	844
平成10年(1998)	1,804	1,466	1,285	1,174	1,107	1,052	888
平成11年(1999)	1,888	1,537	1,324	1,219	1,148	1,102	942
平成12年(2000)	1,900	1,575	1,367	1,264	1,185	1,119	949
平成13年(2001)	2,066	1,673	1,482	1,362	1,269	1,204	999
平成14年(2002)	2,215	1,820	1,573	1,410	1,315	1,253	1,052
平成15年(2003)	2,288	1,900	1,656	1,528	1,428	1,354	1,149
平成16年(2004)	2,390	2,020	1,729	1,581	1,497	1,426	1,229
平成17年(2005)	2,626	2,223	1,932	1,762	1,659	1,598	1,373
平成18年(2006)	2,755	2,351	2,073	1,928	1,822	1,762	1,526
平成19年(2007)	2,786	2,370	2,109	1,957	1,853	1,773	1,585
平成20年(2008)	2,645	2,308	2,093	1,948	1,825	1,746	
平成21年(2009)	2,951	2,515	2,234	2,061	1,959	1,882	
平成22年(2010)	3,029	2,609	2,299	2,115	1,996	1,925	
平成23年(2011)	3,022	2,612	2,318	2,165	2,097	2,057	
平成24年(2012)	3,037	2,629	2,336	2,197	2,162	2,154	
平成25年(2013)	3,027	2,583	2,364	2,315	2,305		
平成26年(2014)	2,928	2,579	2,502	2,490			
平成27年(2015)	2,925	2,651	2,609				



登録(診断)年次別がん患者の実測生存率(%) (男女計) 1964 - 2015

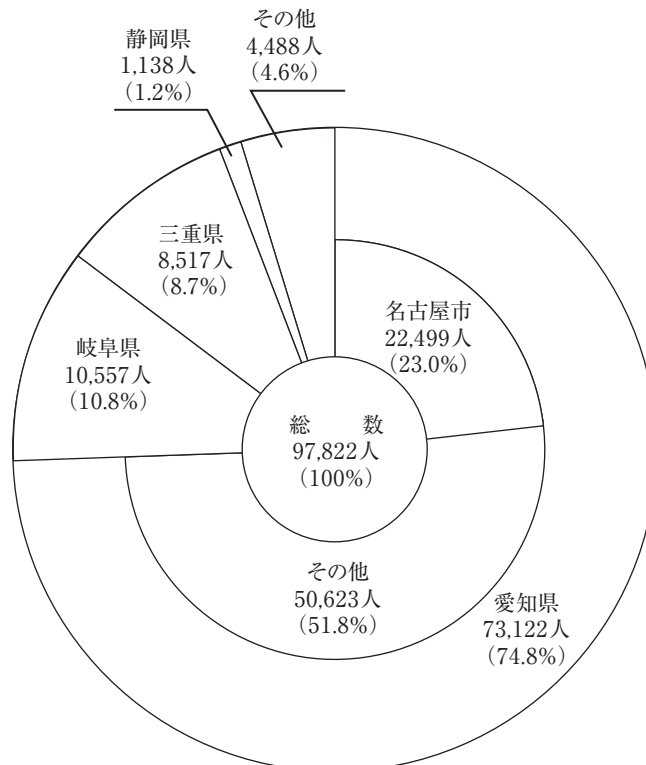
登録(診断)年	経過年数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年(1964)	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年(1965)	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年(1966)	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年(1967)	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年(1968)	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年(1969)	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年(1970)	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年(1971)	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年(1972)	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年(1973)	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年(1974)	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年(1975)	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年(1976)	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年(1977)	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年(1978)	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年(1979)	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年(1980)	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年(1981)	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年(1982)	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年(1983)	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年(1984)	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年(1985)	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年(1986)	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年(1987)	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年(1988)	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年(1989)	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.8
平成2年(1990)	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年(1991)	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.7
平成4年(1992)	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年(1993)	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年(1994)	81.9	72.8	67.4	63.1	60.6	52.0
平成7年(1995)	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.1
平成8年(1996)	82.6	72.3	65.0	62.2	58.8	50.1
平成9年(1997)	83.5	72.0	65.4	61.6	59.0	50.1
平成10年(1998)	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.2
平成11年(1999)	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年(2000)	82.9	71.9	66.5	62.4	58.9	49.9
平成13年(2001)	81.0	71.7	65.9	61.4	58.3	48.4
平成14年(2002)	82.2	71.0	63.7	59.4	56.6	47.5
平成15年(2003)	83.0	72.4	66.8	62.4	59.2	50.2
平成16年(2004)	84.5	72.3	66.2	62.6	59.7	51.4
平成17年(2005)	84.7	73.6	67.1	63.2	60.9	52.3
平成18年(2006)	85.3	75.2	70.0	66.1	64.0	55.4
平成19年(2007)	85.1	75.7	70.2	66.5	63.6	56.9
平成20年(2008)	87.3	79.1	73.6	69.0	66.0	
平成21年(2009)	85.2	75.7	69.8	66.4	63.8	
平成22年(2010)	86.1	75.9	69.8	65.9	63.6	
平成23年(2011)	86.4	76.7	71.6	69.4	68.1	
平成24年(2012)	86.6	76.9	72.3	71.2	70.9	
平成25年(2013)	85.3	78.1	76.5	76.1		
平成26年(2014)	88.1	85.5	85.0			
平成27年(2015)	90.6	89.2				

### がん患者 年齢構成図 (昭和39年12月～平成28年12月)



		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	患者数	296	597	1,773	4,444	10,549	16,452	10,532	1,875	46,518
	%	0.6%	1.3%	3.8%	9.6%	22.7%	35.4%	22.6%	4.0%	100.0%
女	患者数	220	957	5,151	11,456	13,301	12,423	6,357	1,439	51,304
	%	0.4%	1.9%	10.0%	22.3%	25.9%	24.2%	12.4%	2.8%	100.0%
計	患者数	516	1,554	6,924	15,900	23,850	28,875	16,889	3,314	97,822
	%	0.5%	1.6%	7.1%	16.3%	24.4%	29.5%	17.3%	3.4%	100.0%

### がん患者 県別分布数 (昭和39年12月～平成28年12月)



## レジデント履修状況

区分	総数	消化器内科コース	呼吸器内科コース	腫瘍内科・血液内科コース	頭頸部外科コース	呼吸器外科・乳腺科コース	消化器外科コース	婦人科・泌尿器科・整形外科・形成外科コース	放射線診断コース	放射線治療コース	遺伝子診断コース	麻酔科コース
昭和61～平成26年度	1,087	103	58	63	105	151	134	55	87	300	29	2
27年度	48	9	2	9	3	6	5	3	4	4	3	0
28年度	55	10	4	7	4	7	7	4	5	3	3	1
29年度	55	8	3	8	3	11	10	2	3	3	3	1
総数	1,245	130	67	87	115	175	156	64	99	310	38	4

(注)呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

## リサーチレジデント履修状況

区分	総数	疫学・予防学コース	腫瘍病理学コース	分子腫瘍学コース	遺伝子医療研究コース	腫瘍免疫学コース	分子病態学コース	感染腫瘍学コース	腫瘍医化学コース	臨床研究基礎コース
平成13～平成26年度	137	13	15	17	15	17	12	18	23	7
27年度	12	2	0	2	2	2	1	0	3	0
28年度	10	1	0	3	2	0	2	0	2	0
29年度	8	0	0	2	2	0	3	1	0	0
総数	167	16	15	24	21	19	18	19	28	7

(注) 感染腫瘍学コースは、平成25年度までは腫瘍ウイルス学コース  
腫瘍医化学コースは、平成25年度までは発がん制御研究コース

## 医療技術者研修受入れ状況

区分	総数	41～24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総数	5,643	5,292	77	74	72	66	62
医師	3,556	3,346	53	51	26	36	44
診療放射線技師	228	224	1	1	0	1	1
臨床(衛生)検査技師	600	575	4	3	7	5	6
看護師	317	298	2	2	15	0	0
その他	942	849	17	17	24	24	11

## 図書蔵書状況 (受入数-除籍数=総数)

年度	種類	受入数	単行本		専門雑誌	
			洋	和	洋	和
昭和40～平成26年度		71,619	11,895	19,514	28,391	11,819
27年度		980	41	643	9	287
28年度		1,073	56	736	17	264
29年度		1,054	75	702	1	276
除籍累計		13,790	3,343	4,116	4,764	1,567
総数		60,936	8,724	17,479	23,654	11,079

# 主な備品・設備

備 品 (平成30年4月1日現在)

(3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
自動化学分析装置	平成23年度	Labospect008 (タイプ1)	1	臨床検査部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線コンピュータ断層撮影装置	平成17年度	Aquilion32	1	放射線診断・IVR部
血管造影検査治療システム	平成19年度	AquilionLB/INFX-8000C 東芝	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成20年度	Singa HDxt 3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成21年度	Senographe DS Depister GE	1	放射線診断・IVR部
モニター読影入力システム	平成22年度	放射線読影レポートシステム F-Report 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia3 Hawkeye4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
画像保存通信装置	平成26年度	SYNAPSE/Rapideyecore 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA 株式会社製作所	1	放射線診断・IVR部
医療用リニアアクセラレータ	平成17年度	Hi-ARTシステム・Tomo Therapy	1	放射線治療部
小線源確認写真撮影装置	平成19年度	Cvision PLUS 島津	1	放射線治療部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成23年度	Synergy エレクタ	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	平成23年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB-TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
動物飼育設備	平成11年度	ダイダマン	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成28年度	LSM800 カールツァイス	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoScanGXII リガク	1	研究所
質量分析システム	平成22年度	4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer エービー・サイエックス	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (平成30年4月1日現在)

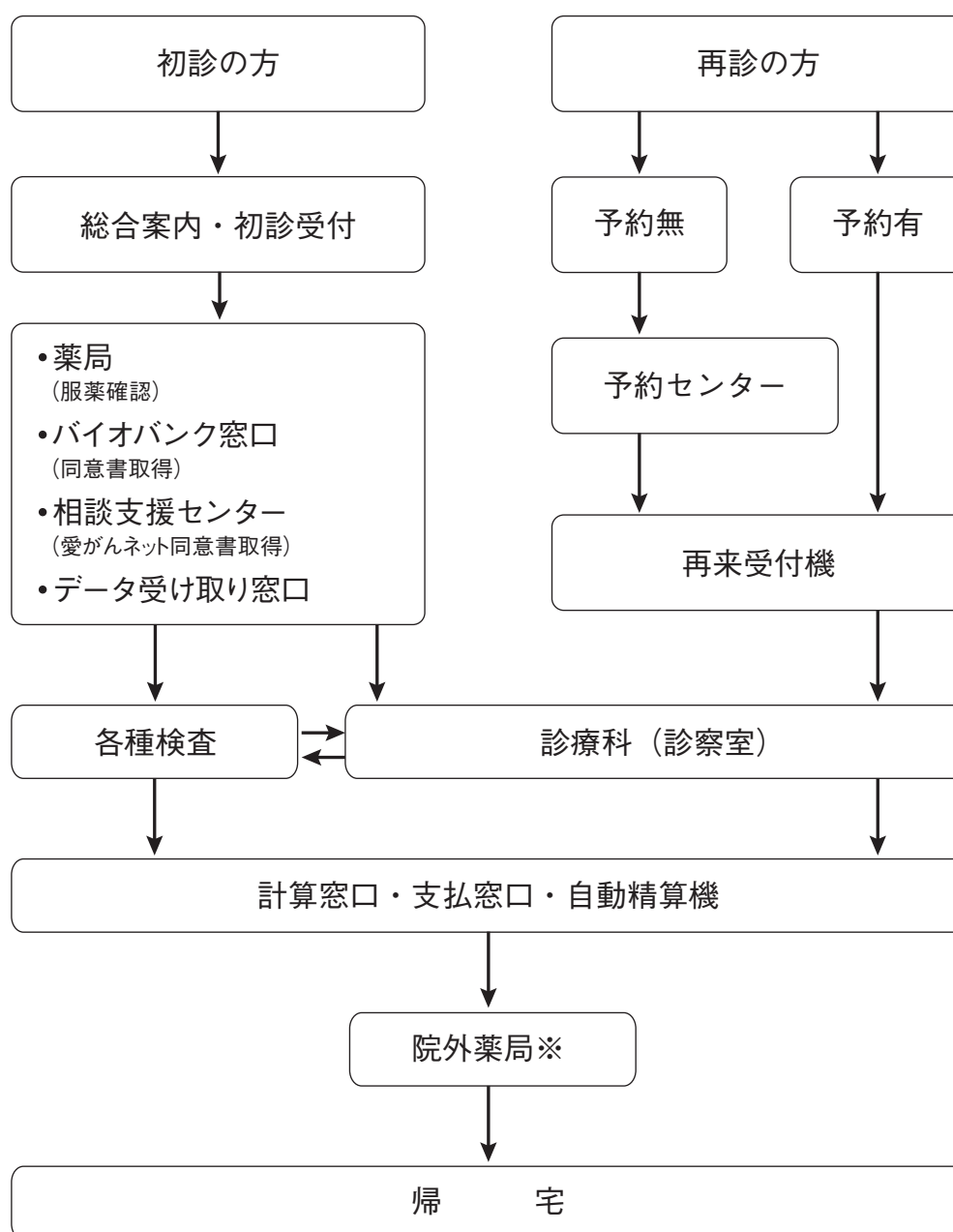
設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量	設備名	設 備 機 械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特高受電用変圧器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒートポンプチャラー	4		高圧配電用変圧器	49		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非 常 用 発 電 機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	118		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

# 病院業務 (平成30年4月1日現在)

**診療科目** 消化器内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、循環器内科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、脳神経外科、眼科、歯科、緩和ケア内科 計 23 診療科

**病床数** 500床

## 外来診療の流れ



※薬剤によっては院内薬局にて処方する場合があります。

## 外来患者状況

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
診 療 日 数	244	244	243	243	244
新 来 患 者 数	5,468	5,279	5,240	5,404	5,705
患 者 延 数	154,951	141,149	138,798	139,270	144,006
1 日 平 均 患 者 数	635.0	578.5	571.2	573.1	590.2
平 均 通 院 回 数	28.3	26.7	26.5	25.8	25.2
紹 介 患 者 比 率	90.6	93.7	95.4	96.2	97.1
外 来 化 学 療 法 件 数	21,762	19,820	20,120	21,388	25,249

## 入院患者状況

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
患 者 総 数	総 数	9,627	9,508	10,143	10,631	10,923
	繰 越	344	327	368	354	342
	新入院	9,283	9,181	9,775	10,289	10,581
退 院 患 者 数	総 数	9,300	9,140	9,789	10,301	10,616
	死 亡	434	372	370	346	392
	その他	8,866	8,768	9,419	9,955	10,224
患 者 延 数		144,191	135,983	141,559	140,407	141,017
1 日 平 均 患 者 数		395.0	372.6	386.8	384.7	386.3
平 均 在 院 日 数		14.5	13.9	13.5	12.6	12.3
病 床 利 用 率		83.5	78.8	81.8	81.3	81.7
病 床 回 転 率		23.5	24.6	25.3	26.8	27.4
死 亡 率		4.7	4.1	3.8	3.4	3.7

## 住所地別患者数

区 分	住 所 地	26年度		27年度		28年度		29年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	3,833	72.6%	3,875	74.0%	4,006	74.1%	4,547	79.7%
	名古屋市	1,812	34.3%	1,932	36.9%	2,049	37.9%	2,563	44.9%
	その他	2,021	38.3%	1,943	37.1%	1,957	36.2%	1,984	34.8%
	県 外	1,446	27.4%	1,365	26.0%	1,398	25.9%	1,158	20.3%
	総 数	5,279	100.0%	5,240	100.0%	5,404	100.0%	5,705	100.0%
新 患 者 入 院 数	愛 知 県	6,770	73.7%	7,102	72.7%	7,565	73.5%	7,828	74.0%
	名古屋市	3,211	35.0%	3,264	33.4%	3,482	33.8%	3,607	34.1%
	その他	3,559	38.7%	3,838	39.3%	4,083	39.7%	4,221	39.9%
	県 外	2,411	26.3%	2,673	27.3%	2,724	26.5%	2,753	26.0%
	総 数	9,181	100.0%	9,775	100.0%	10,289	100.0%	10,581	100.0%

## 患者給食実施状況

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
入院患者延数	144,191	135,983	141,559	140,407	141,017	
給食数 (配膳延食数)	総数	287,760	274,200	288,334	291,474	288,656
	一般食	261,011	240,388	256,580	266,845	263,782
	特別食	26,749	33,812	31,754	24,629	24,874

## 放射線照射回数（診断—直接撮影件数）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総数	44,858	46,564	47,533	51,630	51,296
単純撮影	38,906	40,524	41,545	45,641	45,109
造影撮影	4,515	4,528	4,423	4,707	4,995
特殊撮影	1,437	1,512	1,565	1,282	1,192

## アイソトープ検査件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総数	958	845	876	834	882
シンチスキャン	630	507	576	537	502
センチネルリンパ	326	333	296	271	341
動態計測	2	5	4	26	39

## コンピュータ断層撮影（CT）件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総件数	17,060	17,588	18,350	19,270	20,363

## 超音波断層撮影件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
総数	3,499	3,517	3,990	4,243	4,226	
部位別	甲状腺	293	267	250	290	325
	乳腺	681	667	832	890	802
	腹部	2,140	2,133	2,350	2,506	2,580
	その他	385	450	558	557	519

(注) 放射線診断部・I V R部 超音波検査室における超音波検査件数。

## MRI件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 数	3,946	3,872	4,000	4,080	4,100

## 放射線照射回数（治療）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
総 数	54,362	51,702	49,109	43,565	45,532	
放射線治療計画策定件数	1,496	1,476	1,438	1,364	1,352	
放射性物質	R A L S	51	49	58	116	95
	小 線 源	12	17	9	14	12
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	51,685	49,032	46,481	41,020	42,943
	C T	1,043	1,083	1,091	1,016	1,117
	シミュレーター	75	45	32	35	13

## 一般臨床検査件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
総 数	3,082,084	3,047,702	3,082,403	3,195,147	3,381,703	
尿 検 査	27,194	26,452	28,808	29,664	31,026	
糞 便 検 査	532	426	354	322	305	
血液学的検査	967,033	949,938	954,917	984,776	1,035,217	
生化学的検査	1,636,016	1,612,858	1,632,613	1,693,151	1,804,583	
細菌学的検査 （監視培養検査）	21,429 (1,563)	23,213 (1,563)	21,140 (1,674)	22,830 (1,721)	25,293 (1,727)	
血清学的検査	220,594	223,968	230,735	240,817	254,321	
病理組織検査	8,695	8,629	8,954	9,420	9,682	
癌遺伝子検査	2,191	2,223	2,250	2,494	2,570	
細胞学的検査	7,329	7,347	7,227	8,452	7,463	
血液ガス検査	4,141	4,374	4,743	5,039	1,151	
その他	採血業務	185,224	185,991	188,279	195,891	207,792
	治験処理等	1,706	2,283	2,383	2,291	2,300

（注）（ ）内は内数。



## 機能検査件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 数	19,306	20,911	23,517	23,024	23,108
心 電 図 検 査	4,689	5,065	6,698	5,272	5,355
負 荷 心 電 図 検 査	2,026	2,038	2,073	2,255	2,275
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	811	843	921	1,089	1,029
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	247	273	216	210	191
心 臓 超 音 波 検 査	2,652	2,789	2,971	3,158	3,265
肺 機 能 検 査	7,913	8,944	9,560	9,863	9,920
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	123	162	133	125	109
聴 力 検 査	144	116	120	165	153
乳 腺 超 音 波 検 査	701	681	825	887	811
骨 塩 定 量 検 査	0	0	0	0	0
そ の 他 検 査	0	0	0	0	0

(注) その他の検査はベクトル心電図検査、心音図検査、心拍出量検査、脳波検査を含む。

## 部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	27年度			28年度			29年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,041,749	2,993,229	48,520	3,248,555	3,213,099	35,456	3,378,333	3,340,805	37,528
一般検査	119,645	119,579	66	125,044	124,986	58	132,924	132,859	65
血液検査	647,445	646,231	1,214	672,164	670,395	1,769	706,553	704,857	1,696
免疫血清検査	145,532	138,110	7,422	217,914	206,858	11,056	184,492	175,051	9,441
生化学検査	1,766,377	1,748,133	18,244	1,859,174	1,838,783	20,391	1,956,376	1,932,750	23,626
微生物検査	43,035	41,254	1,781	47,648	45,591	2,057	54,296	51,705	2,591
病理細胞診検査	104,831	104,831	0	104,831	104,831	0	109,875	109,875	0
生理検査	23,517	3,724	19,793	23,024	22,899	125	23,108	22,999	109
その他の検査	191,367	191,367	0	198,756	198,756	0	210,709	210,709	0

(注) 愛知県立病院での統一件数集計方式による。

## 内視鏡検査件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 数	10,202	9,878	10,281	10,509	11,258
上 部 消 化 管	5,833	5,566	5,797	5,958	6,352
下 部 消 化 管	2,632	2,617	2,684	2,708	2,874
気 管 支	214	210	156	181	218
膵胆管造影(ERCP)	475	476	491	494	501
超音波内視鏡(EUS)	684	669	766	760	862
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	364	340	387	408	451

## 内視鏡治療件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 数	1,086	956	1,009	1,001	1,225
食 道 E M R	12	17	8	14	5
胃 E M R	1	4	3	2	0
大腸EMR、ポリペク	250	289	300	325	362
食 道 E S D	62	59	52	70	59
胃 E S D	85	81	84	95	85
大 腸 E S D	62	57	56	55	56
食道狭窄拡張術	251	148	213	146	197
胆道ステント留置術	245	163	179	191	327
乳頭切開術、胆道碎石術	118	138	114	103	134

## 手術件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 数	2,792	2,805	3,002	3,140	3,230
頭 頸 部 外 科	527	510	526	520	453
呼 吸 器 外 科	309	350	403	378	398
乳 腺 科	497	484	459	480	475
消 化 器 外 科	805	767	820	843	910
婦 人 科	283	271	260	285	289
泌 尿 器 科	164 (12)	169 (17)	168 (8)	216 (13)	235 (12)
整 形 外 科	116	141	237	278	297
形 成 外 科	75	107	115	117	148
そ の 他	16	6	14	23	25

(注) 各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。  
泌尿器科の( )内は小線源治療数(外数)

## 主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	27年度	28年度	29年度	部 位	27年度	28年度	29年度
頭 頸 部 が ん	394	374	345	子 宮 頸 が ん	50	60	57
食 道 が ん	79	77	91	(円錐切除)	60	59	54
肺 が ん	283	280	302	子 宮 体 が ん	61	68	67
乳 が ん	440	434	477	卵 巢 が ん	40	43	46
胃 が ん	223	218	176	前 立 腺 が ん	29	48	52
大 腸 が ん	319	333	385	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	63	58	62
肝 ・ 胆 が ん	65	91	91	I V R	1,682	1,861	1,980
膵 臓 が ん	76	83	81	造 血 幹 細 胞 同 種	0	2	2
				移 植 自 家	8	4	1

(注) がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

## 薬剤業務状況

区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			総数	総数	総数	総数	総数	
処 方	枚 数	総 数	79,780	76,590	78,765	82,269	83,091	
		外 来	7,119	7,004	7,000	7,522	8,993	
		入 院	72,661	69,586	71,765	74,747	74,098	
	剤 数	総 数	151,409	149,053	156,003	169,506	174,113	
		外 来	22,380	23,907	23,660	26,320	32,502	
		入 院	129,029	125,146	132,343	143,186	141,611	
延 剤 数	総 数	1,234,068	1,232,441	1,284,571	1,365,204	1,439,047		
	外 来	358,720	396,171	403,050	413,523	531,000		
	入 院	875,348	836,270	881,521	951,681	908,047		
治 験 処 方 枚 数			総 数	1,208	1,073	1,074	972	840
			外 来	1,080	952	982	908	778
			入 院	128	121	92	64	62
注 射	枚 数 (患者人数)	総 数	104,775	97,619	97,348	99,460	107,138	
		外 来	26,265	25,593	25,777	27,630	33,023	
		入 院	78,510	72,026	71,571	71,830	74,115	
	剤 数	総 数	469,546	419,369	407,913	423,163	462,085	
		外 来	78,584	77,368	80,091	89,333	108,569	
		入 院	390,962	342,001	327,822	333,830	353,516	
薬 剤 管 理 指 導 数			人 数	6,134	6,392	6,604	4,866	6,000
			算 定 件 数	7,762	8,257	8,397	6,390	8,247
*1 外来患者指導	常用薬調査	人 数		4,042	5,107	5,254	5,462	
	窓口指導	件 数		316	228	219	192	
*2 外来抗がん剤調製数			件数(患者数)	16,865	15,446	15,782	17,020	20,587
			剤 数	26,121	26,846	26,419	28,639	34,146
*3 外来抗がん剤調製数 (治験)			件数(患者数)	1,510	975	996	1,252	1,468
			剤 数	1,971	1,276	1,199	1,517	1,841
*4 入院抗がん剤調製数 (治験を含む)			件数(患者数)	8,187	8,258	8,893	8,894	9,394
			剤 数	10,896	11,593	12,697	12,648	13,454
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数				8,495	7,846	8,032	8,875	8,058
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数				18,392	18,534	19,416	18,409	18,781
T D M 実 施 件 数				183	163	142	135	262
*5 病棟薬剤業務実施加算件数								20,812

- \* 1 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上（常用薬調査は平成25年度から実施。データは平成26年度から）  
\* 2 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上  
\* 3 外来抗がん剤調製数（治験）は、薬剤師が調製した分のみを計上（※1の外数）  
\* 4 入院抗がん剤調製数（治験を含む）は、薬剤師が調製した分のみを計上  
\* 5 病棟薬剤業務実施加算件数は、平成29年6月から実施した分を計上

## 院外処方せん交付状況（平成29年度）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処 方 せ ん 総 枚 数	4,830	4,956	4,901	4,711	5,069	4,945	5,236	5,278	5,217	4,972	4,941	5,250	60,306
院 内 処 方 せ ん 枚 数 (外 来)	691	780	714	707	744	775	823	761	751	729	739	779	8,993
院 外 処 方 せ ん 枚 数	4,139	4,176	4,187	4,004	4,325	4,170	4,413	4,517	4,466	4,243	4,202	4,471	51,313
比 率 (院外処方せん枚数 処方せん総枚数) %	85.7%	84.3%	85.4%	85.0%	85.3%	84.3%	84.3%	85.6%	85.6%	85.3%	85.0%	85.2%	85.1%

## 血液使用状況

### 1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
自 己 血 液	417	434	216	124	68
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,346	4,520	4,332	4,342	4,623
他の赤血球製剤	34	34	0	0	0
凍 結 血 漿	703	940	902	1,046	1,054
血 小 板	9,650	10,505	8,315	9,660	10,292
そ の 他	0	0	0	0	0

### 2. 検査件数

(単位：件)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,632	2,722	2,488	2,343	2,542
血 液 型 ( A B O )	6,691	6,982	7,155	7,472	8,603
R H 因 子	6,691	6,982	7,155	7,472	8,603
間 接 ク ー ム ス 試 験	2,879	3,051	3,144	3,316	4,227
抗 体 ス ク リ ー ニ ン グ	6,073	6,332	6,518	7,059	8,581
直 接 ク ー ム ス 試 験	34	20	23	28	36

(注) 全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

## 治験等実施件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
治 験 (内 拡 大 治 験)	135	146	149	144 (1)	153 (4)
製 造 販 売 後 臨 床 試 験	8	9	9	13	12
製 販 後 使 用 成 績 調 査	24	37	51	53	53
そ の 他	2	2	0	1	1
合 計	169	194	209	211	219
( 新 規 依 頼 分 )	(58)	(61)	(59)	(54)	(52)
医 師 主 導 治 験	7	7	5	6	8

## 臨床研究件数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
倫理審査委員会承認件数(新規)	119	115	123	193	194
倫理審査委員会承認件数(変更)	77	79	103	117	130
合 計	196	194	226	310	324

## 死体解剖数

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
死 亡 患 者 数	434	372	370	346	392
解 剖 数	6	2	5	7	4
解 剖 率	1.4	0.5	1.4	2.0	1.0

# 研究業務

愛知県がんセンターにおいては、がん患者の診断治療を行うのみならず、がんの研究機関としての研究業務も主たる設置目的の一つに含まれており、病院部門における臨床医学的研究と研究所部門における基礎・社会医学的研究及びトランスレーショナル研究が相まって、当センターの総合がんセンターとしての機能を発揮している。その研究体制は、

- (1) 研究所における分野別研究
- (2) 病院における課題別研究
- (3) 病院・研究所両部門による共同研究
- (4) プロジェクト研究

の4体制で実施されている。平成30年度における研究課題は、次のとおりである。

## 研究所における分野別研究課題

### がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

### がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

### 分子遺伝学分野

- 1 統合的ゲノム・エピゲノム・トランスクリプトーム解析による新規がん関連遺伝子の同定と機能解析
- 2 生殖細胞系列変異のがん発症に及ぼす影響の解明と発がんリスクフィードバック法の開発・評価

### がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

### 分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

### システム解析学分野

(選考中)

### 腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

### 腫瘍免疫応答研究分野

- 1 腫瘍抗原の免疫学的、分子生物学的検索
- 2 免疫診断及び免疫治療の前臨床的及び臨床的研究

腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野  
(選考中)

分子診断トランスレーショナルリサーチ分野  
(選考中)

がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

個別化医療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 個別化医療で見出した臨床的特徴のある遺伝子変異の解析(リバーストランスレーショナル研究の推進)
- 2 各種腫瘍における臓器横断的分子生物学的特徴の検討

## 病院における課題別研究課題

- 1 がん治療におけるインターベンショナル・ラジオロジーの応用についての研究
- 2 治療感受性と再発リスクによる乳癌術後補助療法の選択に関する研究
- 3 臨床検査における各種癌診断手法の改善、開発
- 4 骨軟部肉腫進行例に対する治療法の研究
- 5 病理細胞診断における分子腫瘍診断法の研究
- 6 トモセラピーを用いた強度変調放射線治療の臨床応用

## 病院・研究所両部門による共同研究課題

- 1 悪性中皮腫の原因遺伝子の同定と臨床応用
- 2 頭頸部癌症例対照研究
- 3 遺伝子多型を含めた乳がんリスク予測モデリング
- 4 がんに結合する高親和性 T 細胞受容体の樹立
- 5 前立腺癌におけるホルモン治療に対する耐性獲得機序の解析
- 6 大腸がん転移抑制遺伝子の同定およびその機能解析

## プロジェクト研究課題

- 1 組織構造を有した新規培養系による、前立腺がん検体の新評価
- 2 T A Z 活性化による中皮細胞がん化の分子機構の解明
- 3 漿液性嚢胞性腫瘍および悪性腺内分泌腫瘍に対するプローベ型共焦点内視鏡の検討
- 4 次世代シーケンサーを用いた個別化医療の確立を目指した悪性リンパ腫の遺伝子変異解析

## 特許の状況

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
発 明	件 数	5	5	5	1	1
出 願	件 数	5	3	4	2	1
登 録 件 数	年 度 当 初	27	32	25	29	31
	新 規	5	4	5	4	3
	権 利 消 滅	0	11	1	2	7
	年 度 末	32	25	29	31	27
実 施 許 諾 件 数	年 度 当 初	4	5	5	5	6
	新 規	1	0	0	1	0
	満 了 ・ 解 約	0	0	0	0	2
	年 度 末	5	5	5	6	4

(注) 出願件数には外国出願、国際(PCT)出願を含む。

## 研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

25年	26年	27年	28年	29年
82	71	100	86	79

## 公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		26年度	27年度	28年度	29年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	118,845	125,580	61,165	43,663
	件 数	17	17	13	21
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	54,396	59,150	52,429	50,174
	件 数	42	42	43	35
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	27,690	2,050	2,600	3,650
	件 数	9	6	8	7
A M E D (日本医療研究開発機構)	金 額	62,789	127,901	120,160	114,565
	件 数	23	41	41	46
J S T (科学技術振興機構)	金 額	44,438	325	0	13,000
	件 数	6	1	0	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	12,050	11,350	10,750	7,950
	件 数	14	12	13	9
そ の 他	金 額	1,164	864	1,100	800
	件 数	2	1	1	1
計	金 額	321,372	327,220	248,204	233,802
	件 数	112	120	119	120

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		26年度	27年度	28年度	29年度
文部科学省(日本学術振興会)補助金	金 額	117,220	119,015	52,000	37,287
	件 数	14	13	9	16
文部科学省(日本学術振興会)助成金	金 額	39,078	42,705	28,470	29,081
	件 数	26	26	21	13
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	3,400	950	850	1,550
	件 数	3	3	3	3
A M E D (日本医療研究開発機構)	金 額	8,989	66,620	59,650	66,606
	件 数	3	13	9	11
J S T (科学技術振興機構)	金 額	32,438	325	0	13,000
	件 数	5	1	0	1
国立がん研究センター研究開発費	金 額	2,700	3,800	4,300	3,400
	件 数	3	4	5	3
そ の 他	金 額	300	0	0	0
	件 数	1	0	0	0
計	金 額	204,179	233,415	145,270	150,924
	件 数	54	60	47	47

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く)

# 類似病院との比較

項 目	愛知県	順 位	埼玉県	千葉県	静岡県	兵庫県	宮城県	神奈川県	
	が ーん センター 中央病院		が ーん センター	が ーん センター	静 岡が ーん センター	が ーん センター	が ーん センター (独立行政法人)	が ーん センター (独立行政法人)	
事 業 開 始 年 月	S39.12.1		S50.11.1	S47.11.1	H14.6.24	S59.5.22	S42.4.1	S38.4.15	
病 床 数	500	3	503	341	611	400	383	415	
※ 稼働状況	病 床 利 用 率 (%)	76.9	3	70.6	70.5	89.0	76.1	72.5	82.6
	平 均 在 院 日 数 (日)	12.6	3	13.5	13.1	11.8	13.0	17.6	11.8
	1 日 平 均 外 来 患 者 数 (人)	573	5	819	441	1,177	620	340	1,037
※ 収益状況	入 院 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	60,327	6	63,392	61,373	65,571	64,232	52,644	70,619
	外 来 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入 (円)	50,642	1	35,572	34,042	40,334	44,299	41,392	29,664
※ 繰入金の状況	1 病 床 当 たり 一 般 会 計 繰 入 金 額 (千円)	6,882	5	5,577	7,022	10,567	2,359	5,731	6,879
	一 般 会 計 繰 入 金 対 経 常 収 入 益 (%)	16.9	4	14.5	18.3	19.7	6.0	19.5	14.1
※ 経営状況	経 常 収 支 比 率 (%)	105.0	1	92.0	93.0	100.4	101.7	100.7	93.3
	医 業 収 支 比 率 (%)	94.8	3	80.4	77.2	86.3	96.2	101.0	94.4
	修 正 医 業 収 支 比 率 (%)	88.4	2	80.3	74.3	85.9	96.2	81.9	81.8
	職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 (%)	39.3	3	49.7	65.2	38.4	44.4	42.9	35.9
	病 床 1 床 当 たり 実 質 損 益 (千円)	△4,954	2	△8,825	△15,938	△ 10,607	△1,905	△5,527	△10,383
	病 床 1 床 当 たり 純 利 益 (△) 純 損 失 (千円)	1,927	1	△3,248	△8,915	△ 40	455	204	△3,504
	病 床 1 床 当 たり 概 算 キャッシュフロー発生額 (千円)	4,818	2	1,360	△6,671	5,760	2,551	2,681	2,747

注1 数値は「平成28年度地方公営企業決算の状況」の報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金)／医業費用×100

・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△)純損失－他会計繰入金)／許可病床数

・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△)純損失＋減価償却費＋資産減耗費＋繰延勘定償却)／許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」をご参照下さい。



## 外来診療案内

(平成30年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで
- ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診 療 科	診 療 内 容	診 察 日	
消 化 器 内 科	消 化 器 疾 患	月～金	
呼 吸 器 内 科	呼 吸 器 疾 患	月～金	
循 環 器 科	循 環 器 疾 患	月・木	
血 液・細胞療法科	造 血 器 ・ そ の 他	月～金	
薬 物 療 法 科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金	
頭 頸 部 外 科	口 腔 ・ 耳 鼻 咽 喉 ・ 甲 状 腺	月～金	
形 成 外 科	形 態 治 療 ・ 機 能 再 建	月・火・水・木	
呼 吸 器 外 科	肺 ・ 縦 隔 疾 患	月～金	
乳 腺 科	乳 腺 疾 患	月～金	
消 化 器 外 科	消 化 器 系 統 ・ 食 道 疾 患	月～金	
整 形 外 科	整 形 外 科 疾 患	月・火・水・金	
脳 神 経 外 科	脳 神 経 疾 患	月～金	
泌 尿 器 科	泌 尿 器 疾 患	月・水・金	
婦 人 科	婦 人 科 疾 患	月～金	
皮 膚 科	皮 膚 疾 患	月・火・水・木	
眼 科	眼 科 疾 患	金	
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金	
放 射 線 治 療 科	放 射 線 治 療 ・ そ の 他	月～金	
精 神 腫 瘍 科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金	
緩和ケア科	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療	水
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療	火・木
リスク評価センター	遺伝子カウンセリング・ 遺伝学的検査の提供	月～金	

- ※1 精神腫瘍科は、予約のみの対応です。
- ※2 リスク評価センターは、完全予約制・自由診療です。
- ※3 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)

## 入 院 案 内

(平成30年4月1日現在)

### ◆ 入院の申込み

- 1 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 2 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 3 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。  
なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

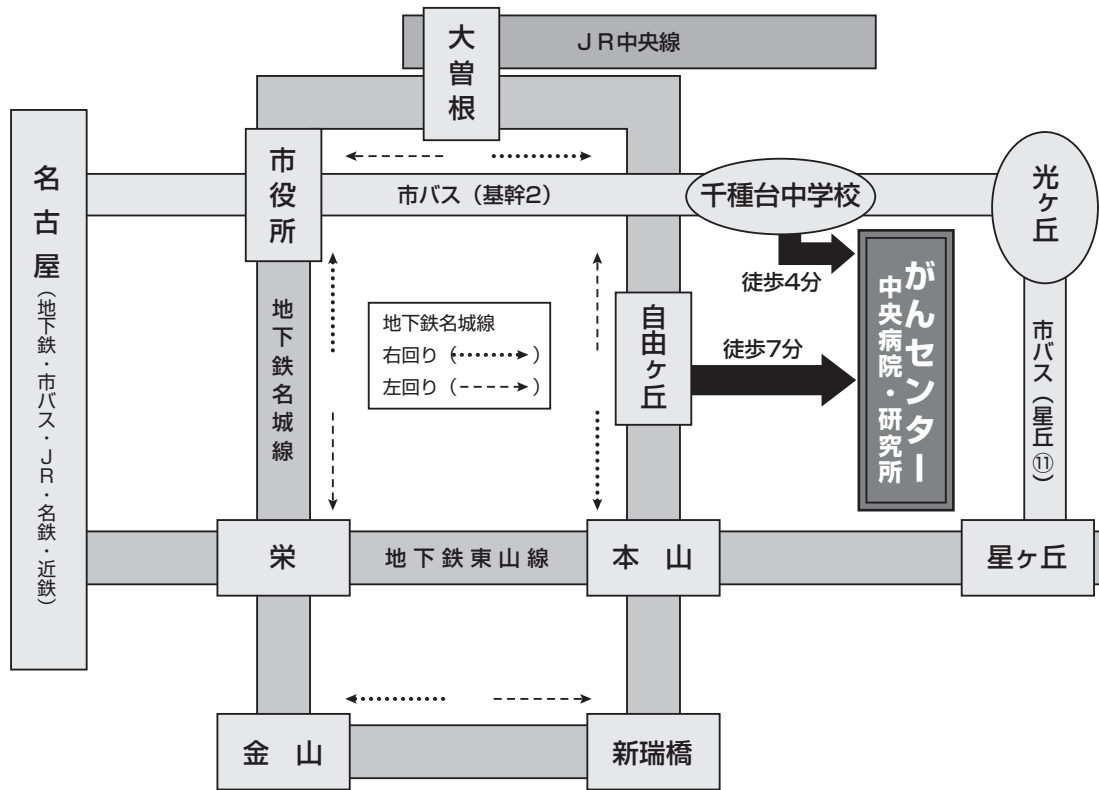
区 分	A室	B室	C室	D室
室 料（1日につき）	32,400円	17,280円	12,420円	7,200円

(税込)

### ◆ 面 会

- 1 面会は、療養上の都合により次の時間内をお願いします。ただし、病状その他の理由により面会できない場合があります。  
月曜日～金曜日 午後2時から午後8時まで  
土、日曜・祝日 午前10時から午後8時まで
- 2 面会の方は、次の事項をお守りください。
  - (1) 面会のときは、看護師に申し出てください。
  - (2) 面会は、他の患者さんに迷惑のかからないよう中央デールーム(面会室)をご利用ください。
  - (3) 病室内での飲食はご遠慮ください。
  - (4) 構内は禁煙になっています。
  - (5) 小さいお子様をお連れになった場合は、他の患者さんに迷惑のかからないようお願いします。

# 交通案内



## 地下鉄利用 「自由ヶ丘」2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】  
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曾根・栄から【所要時間：大曾根から約20分】  
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から 【所要時間：金山から約35分】  
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

## 市バス利用 「千種台中学校」から徒歩4分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】  
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から 【所要時間：星ヶ丘から約20分】  
星ヶ丘①系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

## 自家用車利用 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西

- 東名高速道「名古屋IC」から西へ約15分  
名古屋ICより、名古屋長久手線(60号線)を西(星ヶ丘方面)へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道「四谷出口」から北へ約10分  
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター中央病院・研究所概要  
平成30年度

平成30年5月発行

発行所 愛知県がんセンター

名古屋市千種区鹿子殿1番1号

電話 052-762-6111 (〒464-8681)

Home Page: <http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

印刷 相羽印刷株式会社

名古屋市守山区瀬古一丁目241番地 (〒463-0068)

電話 052-795-5122 FAX 052-795-5123



愛知県がんセンター  
Aichi Cancer Center